

輸出事業計画

※申請者名：秀長水産(株)、品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 本県主力輸出商品であるブリ、マダイの生産量は全国的に近年減少傾向。
- 人口減少、少子高齢化、魚離れなどにより水産物の国内需要は減少傾向

- 愛媛県の輸出は増加傾向（R2はコロナでダウン）

（背景）輸送技術の進展、食品流通の国際化、都市人口の増加、スーパー等での購入増、新興国等での食生活の変化、健康志向の高まり等

（追い風）日本食ブーム、補助事業充実、国輸出戦略等

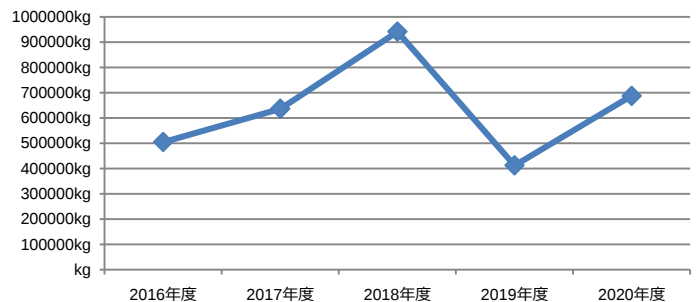
（実態）北米向けブリ伸長、韓国向け活魚伸長

【課題】

- 輸出 へさらなる輸出拡大に向けて～

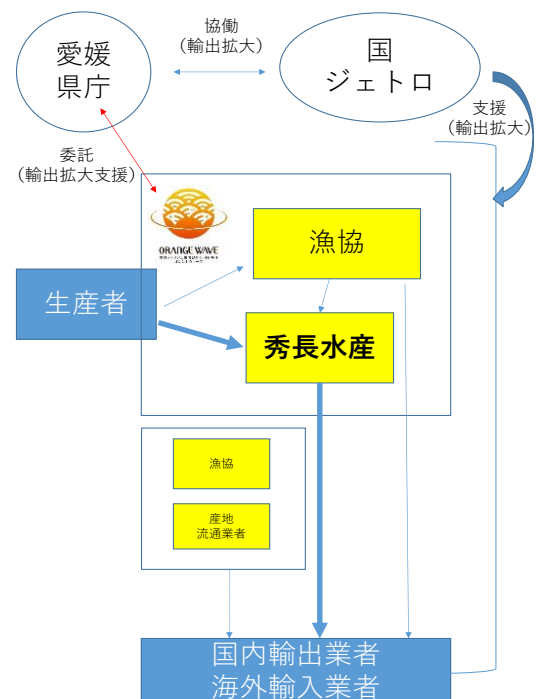
- ・HACCP施設の維持拡大
- ・輸出障壁（放射性物質検査等）の撤廃
- ・体制整備（FSMA対応、Green list取得等）
- ・アイテム確保（漁業認証、戦略魚種）
- ・認知度向上（愛育フィッシュ、EHIME JAPAN）
- ・ビハインド（価格等）
- ・マーケットニーズの把握

過去実績取扱重量



2. 輸出事業計画の取組内容

項目	対応策
HACCP輸出	・HACCP施設整備、改修 ・輸出拡大に必要な機器の整備等
輸出障壁	・輸出証明書の迅速な申請体制の整備
体制整備	・HACCPプラン実行、FSMA対応 ・グリーンリスト取得
漁業認証	・認証取得及び維持 ・現地ニーズの把握
戦略商品	・愛育フィッシュ（ブリ、マダイ、クロマグロ、シマアジ等）、天然魚
認知度	・県プロモーション活動への参加 ・国（ジェトロ）と一体となったプロモーション活動への参加
ビハインド	・多量多品種の強みを生かした輸出 ・共同集荷輸送の検討
マーケットニーズの把握	・展示会等への参加 ・海外バイヤーやシェフ等の招聘等

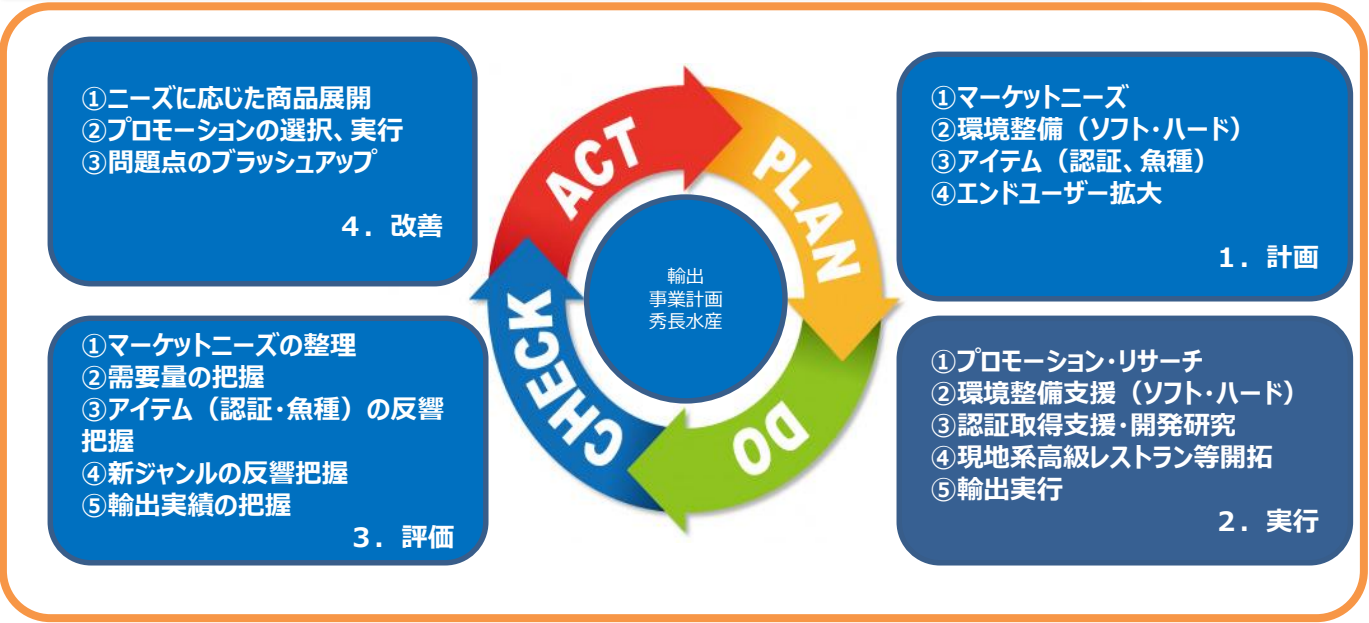


オレンジウェーブを軸とした官民一体となった輸出拡大対策に取り組むこととし、国輸出戦略による拡大策と協働で愛育フィッシュの輸出を伸長。国輸出関連事業についても積極的に活用。

輸出事業計画

※申請者名：秀長水産(株)、品目：愛媛県産水産物（真珠を除く）

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

ぶり	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	160,000千円	400,000千円	+240,000千円
輸出量	147 t	300 t	+153 t
輸出先国	北米、韓国、中国	北米、韓国、中国、EU	EU

まだい	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	190,000千円	400,000千円	+210,000千円
輸出量	327 t	800 t	+473 t
輸出先国	北米、韓国	北米、韓国、中国、EU	中国、EU

その他	現状（令和2年度）	目標（令和7年度）	増減
輸出額	388,000千円	500,000千円	+112,000千円
輸出量	214 t	350 t	+136 t
輸出先国	中国、ベトナム	中国、ベトナム、アフリカ、その他	アフリカ、その他